

3 将来都市構造の基本的な考え方

<主なポイント>

(1) 人口減少社会に対応したまちづくり

- ・人口減少をはじめとする社会経済情勢が大きく変化
- ・既存の社会資本を最大限に活用し、無秩序な都市機能の拡散を抑制しつつ、必要なところに適切な都市機能を集積させる、といったコンパクトなまちづくりが必要

(2) 地域ごとの土地利用の方針

市域を「南部地域」と「北部地域」の2地域に区分し、さらに南部地域を都市計画法に基づく市街化区域に概ね整合する「南部市街地」と、自然緑地の部分である「市街地周辺緑地」に区分

【南部地域】

- ・「南部市街地」は、原則として現在の市街化区域を堅持し、市街地の拡大を抑制する。
- ・「市街地周辺緑地」は、保全や育成に努め、緑地として整備に努める。

【北部地域】

- ・豊かな自然環境や水辺、農地など、自然環境と田園環境を保全する。



※上記については、今後、宝塚市都市計画審議会の議論を踏まえ、整理していくため、修正や追記など、変更を行う可能性があります。